

2008年11月6日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 新幹線へのAED(自動体外式除細動器)搭載について

JR東日本では、多くのお客さまがご利用になる駅において、お客さまが安心してご利用いただくために、現在181の駅にAEDを設置しております。

今回、新幹線をご利用のお客さまにも、安心してご利用いただくために、2009年2月以降、東北・上越・長野・山形・秋田新幹線の全編成にAED(自動体外式除細動器)を搭載いたします。

### 搭載の対象となる編成について

東北・上越・長野・山形・秋田の各新幹線

(200系、400系、E1系、E2系、E3系、E4系) 全131編成

### 搭載箇所について

各編成1箇所のデッキ等に設置し、お客さまにもお取り扱いいただけるようにいたします。

### 導入時期について

今年度内に全編成に搭載します。

JR東日本では、2005年9月に御茶ノ水駅へAEDの導入を開始してから、2008年9月末現在で、181駅328台の設置を完了しております。

### 【AED(Automated External Defibrillator)とは】

致死性の不整脈「心室細動」が発生した心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す装置で、患者が倒れた現場近くで最初の発見者が使用して救命できるよう、小型かつ操作を簡単にしたものです。欧米では2000年頃から普及し、空港・駅・学校など公共施設に備えられるようになりました。多くの国で医療従事者でない人の使用が認められています。

### 【心室細動とは】

心室細動とは、心臓の心室が小刻みにふるえた状態になり、脳やからだに血液を送り出すことができなくなるため、数分間続くと死にいたる危険な不整脈のことです。発症から1分経過するごとに10%ずつ救命率が低下するといわれています。